

第5回つくばみらい市義務教育施設適正配置審議会  
及びつくばみらい市学区審議会協議資料（別冊）

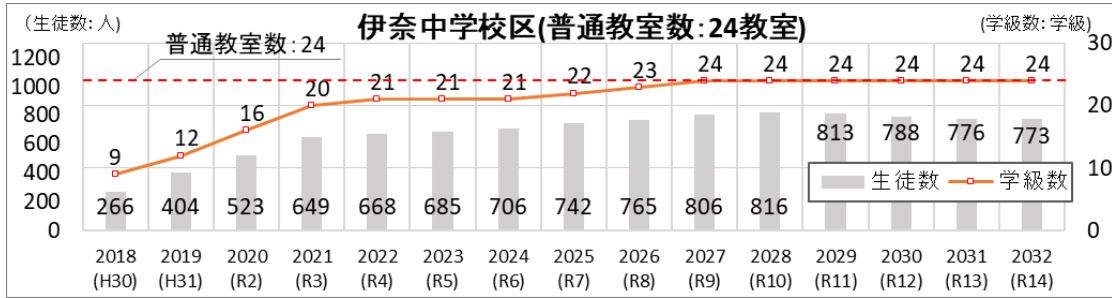
令和元年6月13日（木）

# 1. 中学校区の適正配置の再整理

既存の4中学校の生徒及び学級数の推移と施設の状態（築年数）、将来的な適正配置の学校規模・学級規模、過小規模校の解消に向けた学校規模・学級規模について再整理します。

## (1) 伊奈東中学校の過小規模（2020年（令和2年））にどう対応するか。

### 1) 伊奈中学校



※2021年（令和3年）まで通学実績による推計値，以降は学校区の推計値

### 2) 伊奈東中学校



※2021年（令和3年）まで通学実績による推計値，以降は学校区の推計値

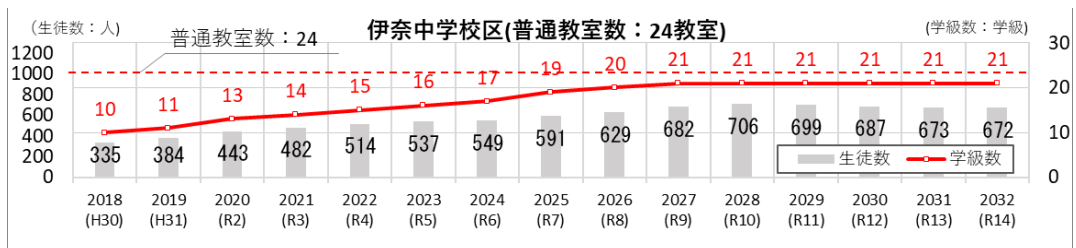
(課題) 伊奈東中学校が2020年（令和2年）に過小規模校になる。

### 3) 伊奈東中学校区に谷井田小，三島小学校区を加えた場合

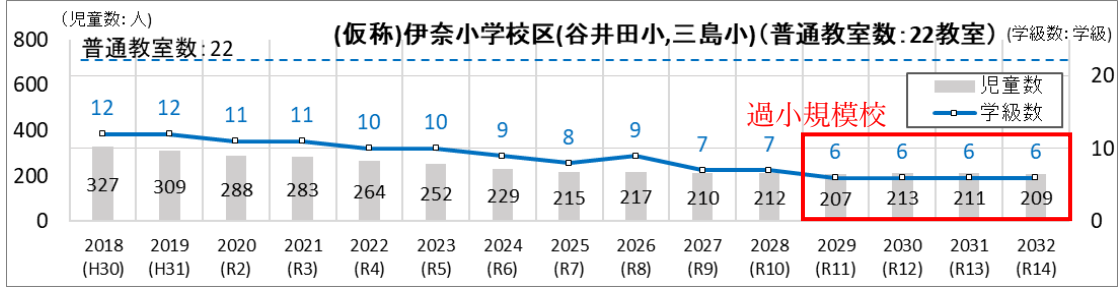


(参考) 伊奈中学校区から谷井田小，三島小学校区を除いた場合

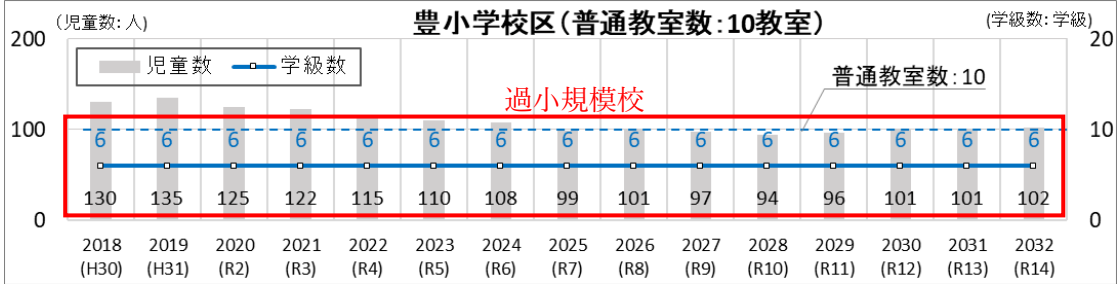
(課題) 伊奈東中学校に谷井田小学校区と三島小学校区を加えても、2032年（令和14年）過小規模校になる。



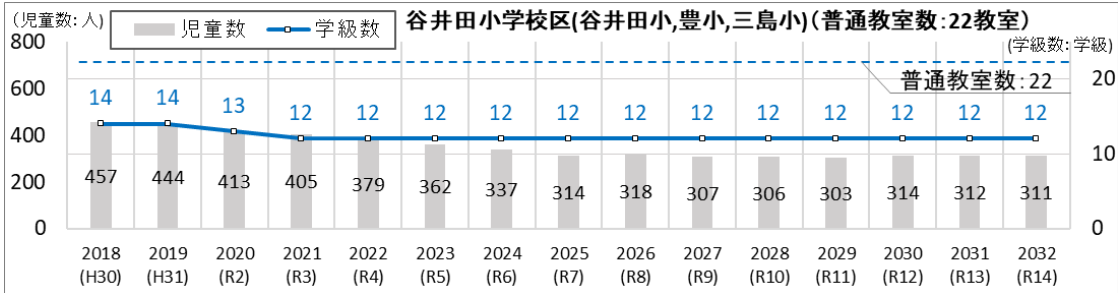
谷井田小学校と三島小学校が統合した場合



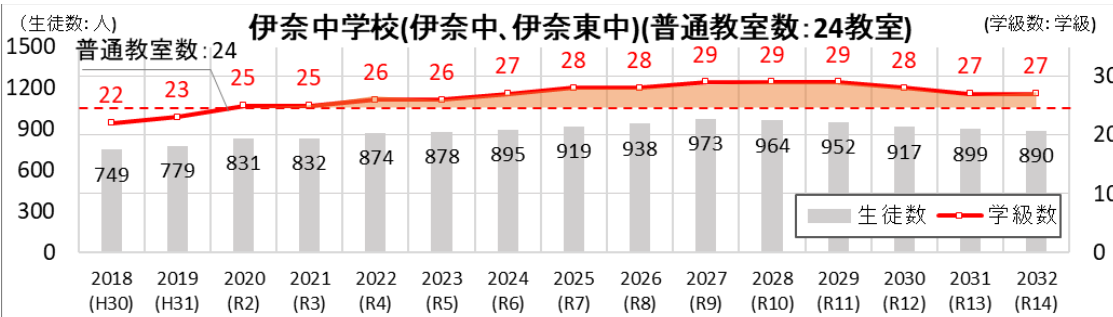
豊小学校



谷井田・三島小学校に豊小学校を統合した場合



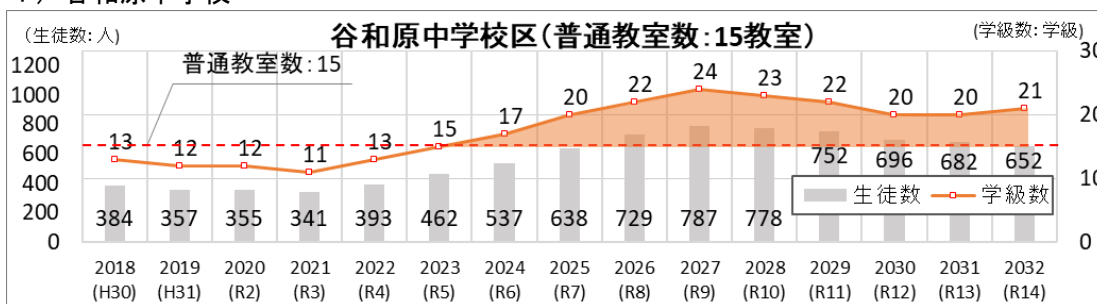
4) 伊奈中学校に伊奈東中学校を統合した場合



(課題) 伊奈中学校と伊奈東中学校を統合すると2020年(令和2年)から最大5教室の教室不足が生じる。

(2) 小絹中学校の過小規模 (2028年 (令和10年)) にどう対応するか。

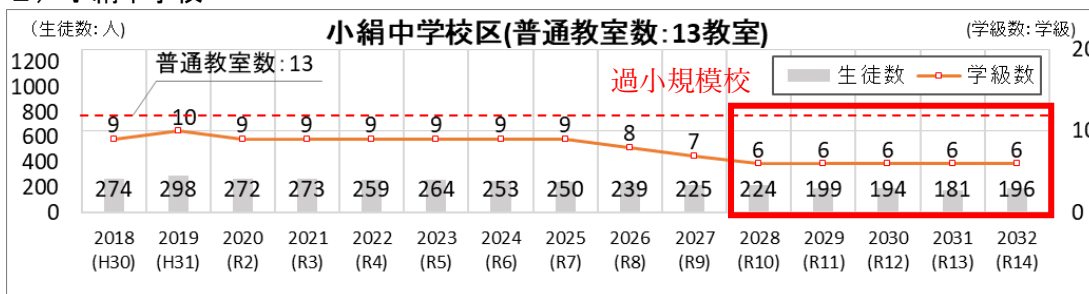
1) 谷和原中学校



※2021年 (令和3年) まで通学実績による推計値, 以降は学校区の推計値

(課題) 谷和原中学校で2024年 (令和6年) から最大9教室の教室不足が生じる。

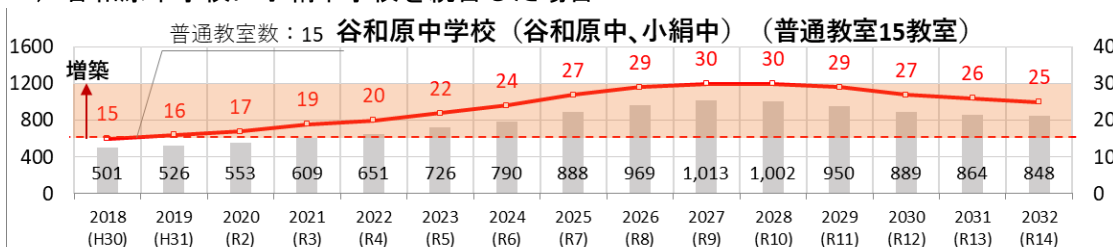
2) 小絹中学校



※2021年 (令和3年) まで通学実績による推計値, 以降は学校区の推計値

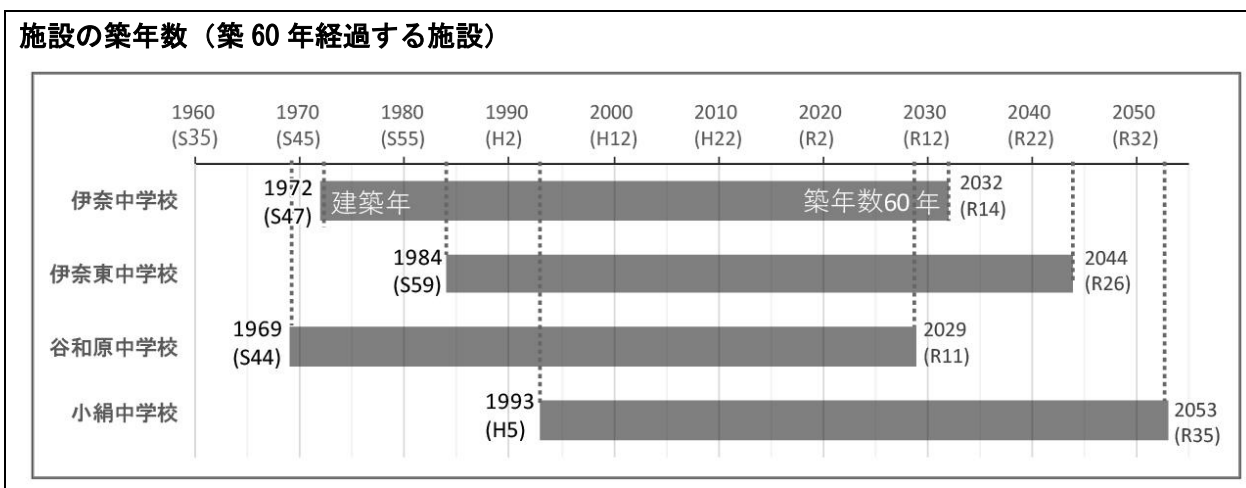
(課題) 小絹中学校が2028年 (令和10年) に過小規模校になる。

3) 谷和原中学校に小絹中学校を統合した場合



(課題) 谷和原中学校と小絹中学校を統合すると2020年 (令和2年) から最大15教室の教室不足が生じる。

(参考) 施設の状況



参考資料 1 : 法定耐用年数は鉄筋コンクリート造の学校施設の場合、60 年又は 47 年程度  
 ※減価償却資産の耐用年数等に関する省令 (昭和 40 年大蔵省令第 15 号) において建物の構造・用途別に定められており、鉄筋コンクリート造の学校は従来 60 年であったが、平成 10 年度の改正により 47 年となっている。  
 一方で、適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には 70~80 年、100 年以上持たせるような長寿命化も可能である

資料 : 「公立学校施設の老朽化対策の検討に係るアンケート調査 (平成 24 年 5 月実施)」 文部科学省

施設名	棟名称	構造	階数	建築年月	面積(m <sup>2</sup> )	耐震化状況
伊奈中学校	管理教室棟	RC	3	S48.3	3,002	H27 改修済
	特別室棟	RC	3	S48.9	727	H27 改修済
	教室棟	RC	3	S55.3	1,939	H27 改修済
	渡り廊下1	RC	2	S55.3	70	H27 改修済
	渡り廊下2	RC	3	S48.9	67	H28 改修済
	体育館	S	2	S46.12	1,222	H9改修済
伊奈東中学校	管理教室棟	RC	3	S60.3	4,950	耐震基準適合
	特別教室棟	RC	1	S60.3	225	耐震基準適合
	体育館	RC	1	S60.3	1,171	耐震基準適合
谷和原中学校	教室棟	RC	3	S44.5	1,325	H25 改修済
	管理棟	RC	3	S44.10	1,570	H25 改修済
	技術棟	S	1	H26.3	276	耐震基準適合
	体育館	RC	2	H12.8	1,455	耐震基準適合
小絹中学校	管理教室棟	RC	3	H6.3	1,997	耐震基準適合
	管理教室棟	RC	3	H6.3	669	耐震基準適合
	特別教室棟	RC	3	H6.3	1,638	耐震基準適合
	技術棟	RC	1	H6.3	259	耐震基準適合
	体育館	RC	1	H6.3	1,206	耐震基準適合

資料 : 学校教育課 平成 28 年 5 月 31 日現在

## 2. 小学校区の適正配置の再整理

既存の10小学校の児童及び学級数の推移と施設の状況（築年数）、将来的な適正配置の学校規模・学級規模、過小規模校の解消に向けた学校規模・学級規模について再整理します。

### (1) 小学校の適正配置における課題

#### 1) 伊奈中学校区における小学校の適正配置

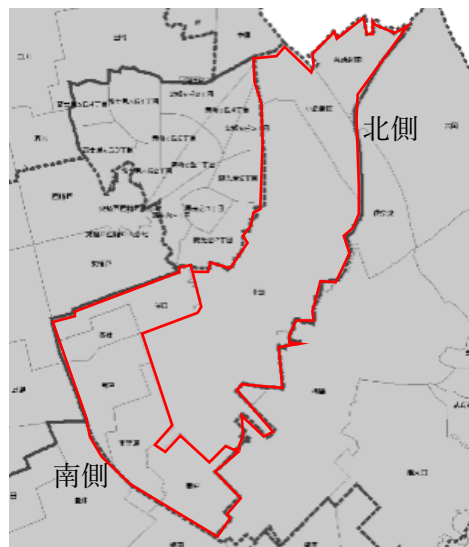
##### 1-1 小張小学校



(課題) 小張小学校では、すでに過小規模校になっている。また、小張小学校区の北側の地域の児童は陽光台小学校に指定校変更している。

(参考) 小張小学校区を南北に分割した児童数

	小張小学校区(北側)	小張小学校区(南側)
2018.4.1 H30	110	20
2019.4.1 R1	105	22
2020.4.1 R2	107	25
2021.4.1 R3	101	24
2022.4.1 R4	102	23
2023.4.1 R5	97	18
2024.4.1 R6	94	16
2025.4.1 R7	97	14
2026.4.1 R8	96	13
2027.4.1 R9	96	14
2028.4.1 R10	93	14
2029.4.1 R11	92	15
2030.4.1 R12	94	16
2031.4.1 R13	93	17
2032.4.1 R14	92	17

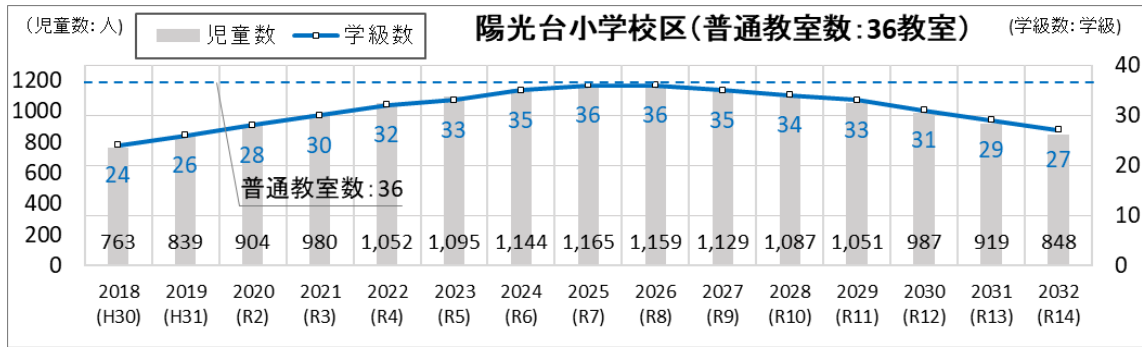


※H30年は実績値、四捨五入の関係で北側と南側の合計が小張小学校区と合わない場合がある。

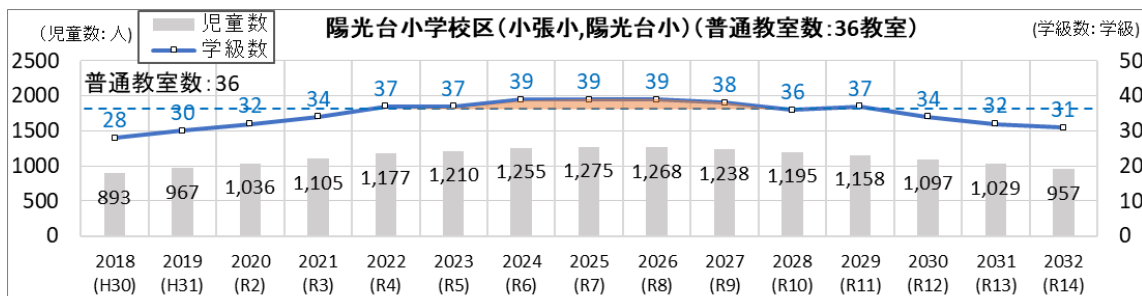
※小張小学校区(北側): 小張, 小島新田

※小張小学校区(南側): 谷口, 奉社, 市野深, 新戸

## 1-2 陽光台小学校

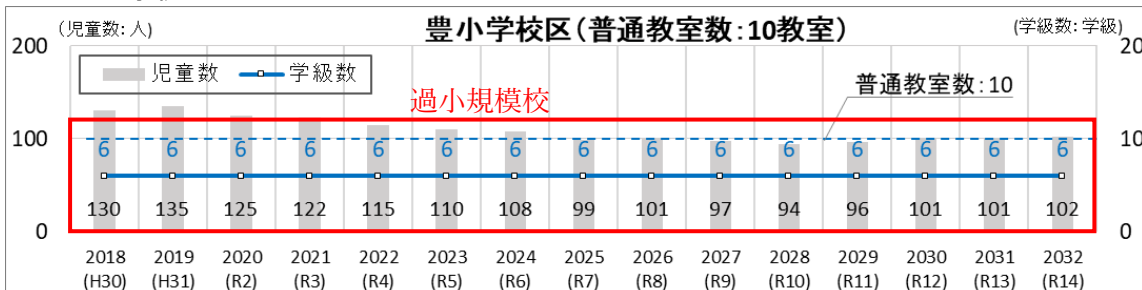


## 1-3 陽光台小学校に小張小学校を統合させた場合



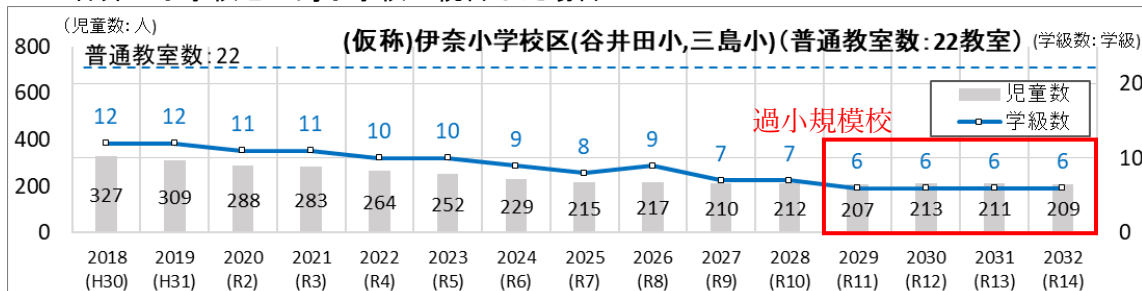
(課題) 陽光台小学校に小張小学校を統合させた場合、2023年(令和5年)から最大3教室の教室不足が生じる。

## 2-1 豊小学校



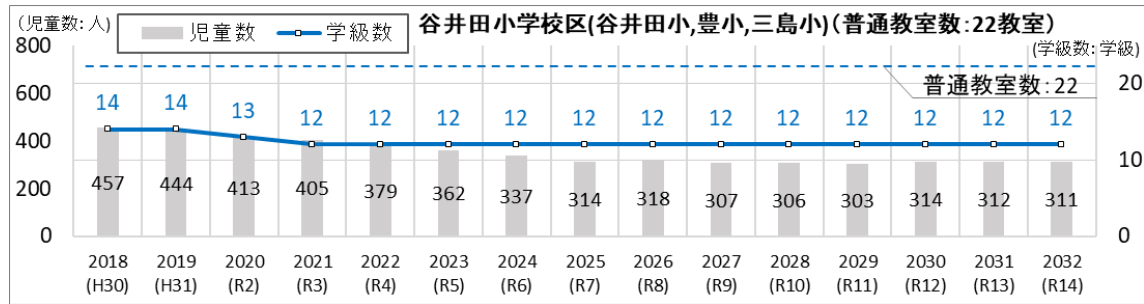
(課題) 豊小学校は、すでに過小規模校になっている。

## 2-2 谷井田小学校と三島小学校が統合した場合



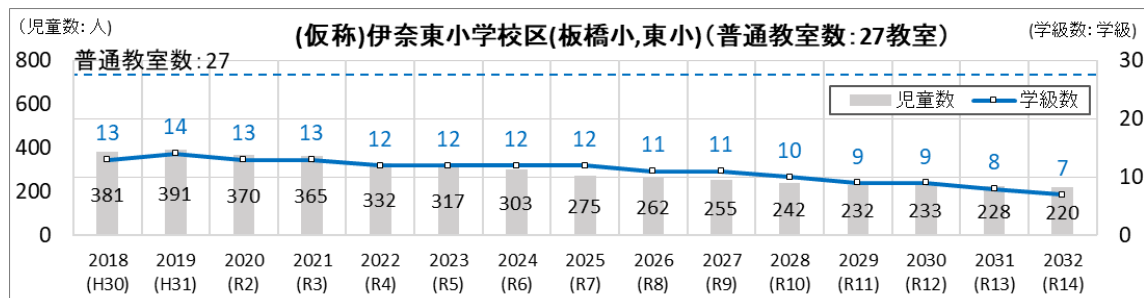
(課題) 谷井田小・三島小学校の統合校は、統合した場合、2029年(令和11年)には過小規模校になる。

2-3 谷井田・三島小学校に豊小学校を統合した場合



2) 伊奈東中学校区における小学校の適正配置

1-1 板橋・東小学校



(課題) 板橋小・東小学校の統合校は、2026年(令和8年)から小規模校になる。

3) 谷和原中学校区における小学校の適正配置

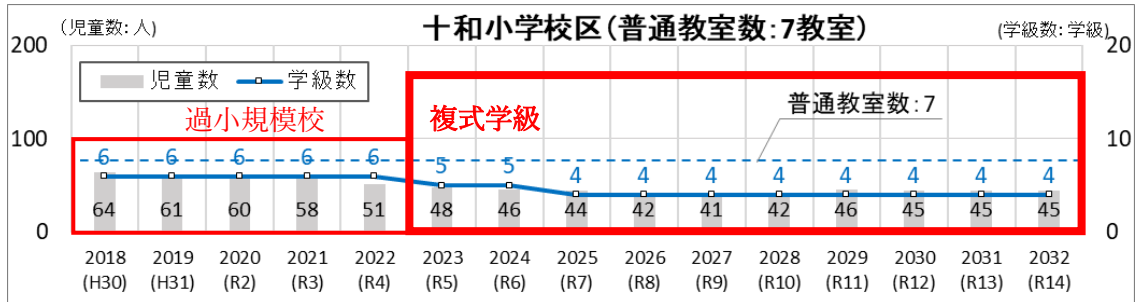
1-1 谷原小学校



(課題) 谷原小学校では、すでに過小規模校になっている。

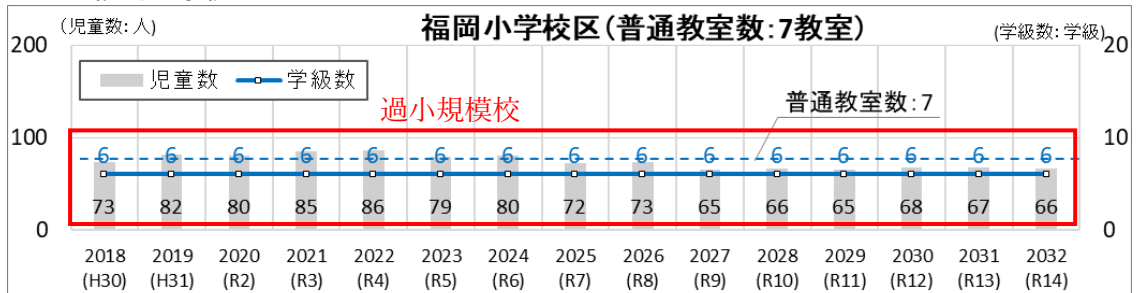


### 1-2 十和小学校



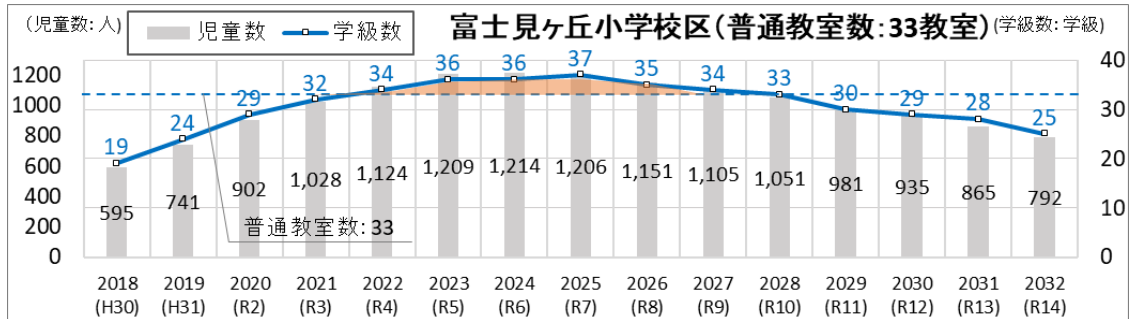
(課題) 十和小学校では、すでに過小規模校になっており、2023年(令和5年)からは複式学級が発生する。

### 1-3 福岡小学校



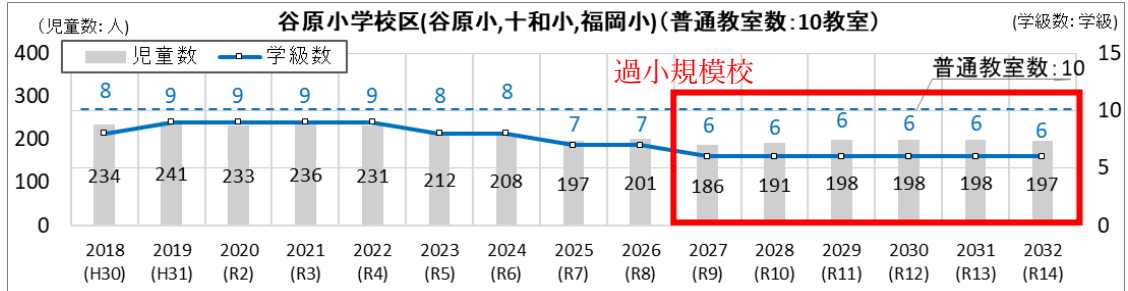
(課題) 福岡小学校ではすでに過小規模校になっている。

### 1-4 富士見ヶ丘小学校



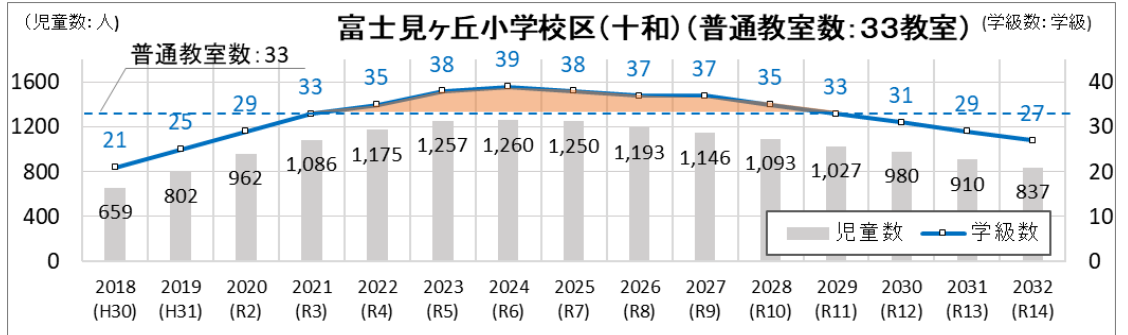
(課題) 富士見ヶ丘小学校では、2022年(令和4年)から2027年(令和9年)まで最大で4教室の教室不足が生じる。

1-5 谷原小学校に十和小学校と福岡小学校を統合した場合



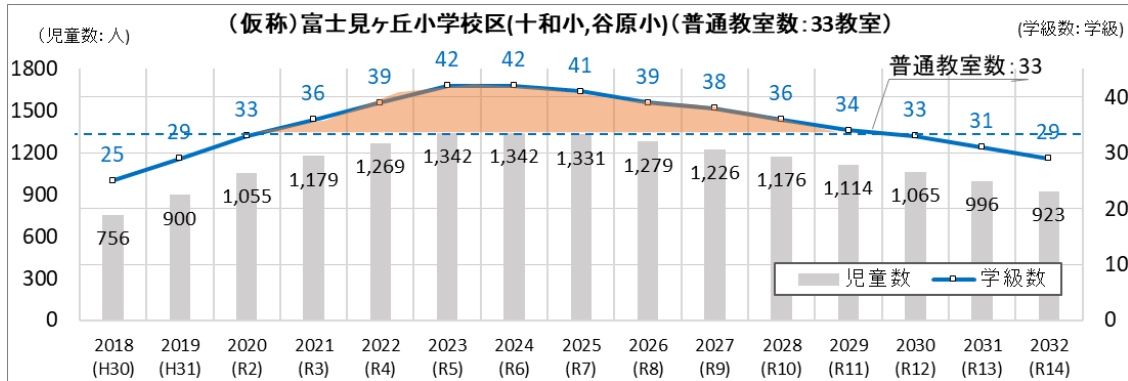
(課題) 谷原小学校に十和小学校, 福岡小学校を統合しても 2027 年(令和 9 年)には過小規模になる。

1-6 富士見ヶ丘小学校に十和小学校を統合した場合



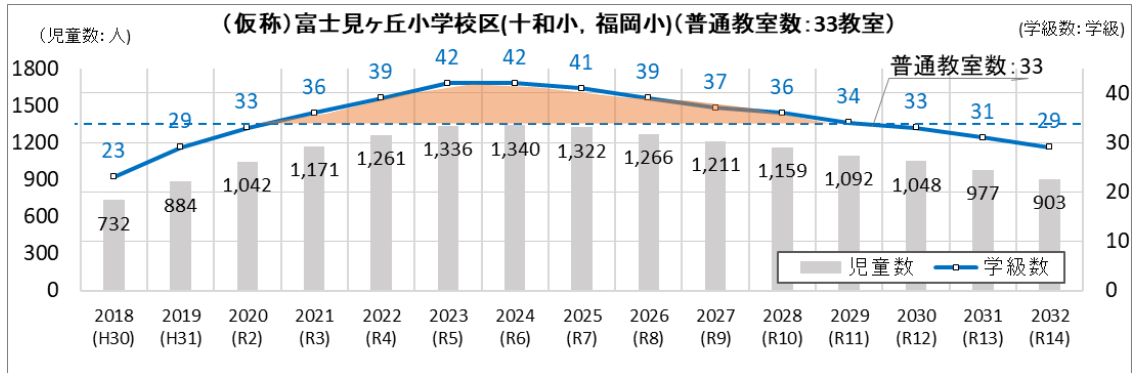
(課題) 富士見ヶ丘小学校に十和小学校を統合すると, 2022 年(令和 4 年)から最大 6 教室の教室不足が生じる。

1-7 富士見ヶ丘小学校に十和小学校、谷原小学校を統合した場合



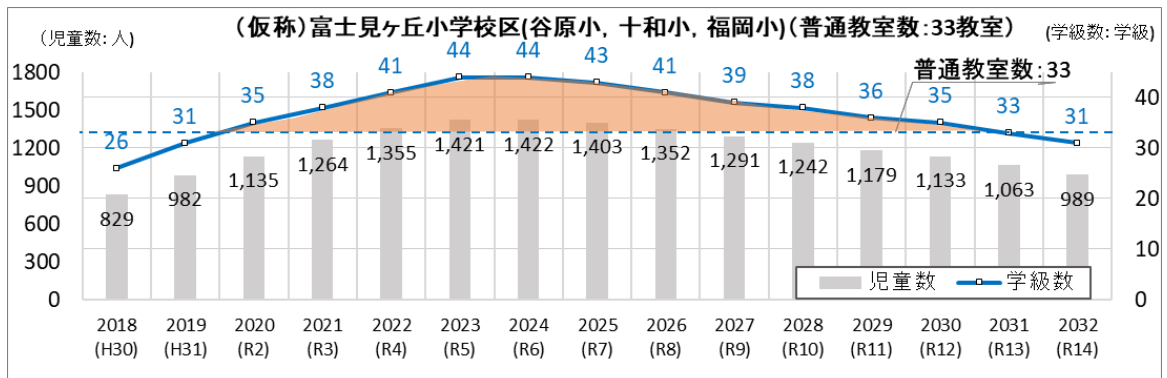
(課題) 富士見ヶ丘小学校に十和小学校と谷原小学校を統合すると, 2021 年(令和 3 年)から最大 9 教室の教室不足が生じる。

1-8 富士見ヶ丘小学校に十和小学校、福岡小学校を統合した場合



(課題) 富士見ヶ丘小学校に十和小学校と福岡小学校を統合すると、2021年(令和3年)から最大9教室の教室不足が生じる。

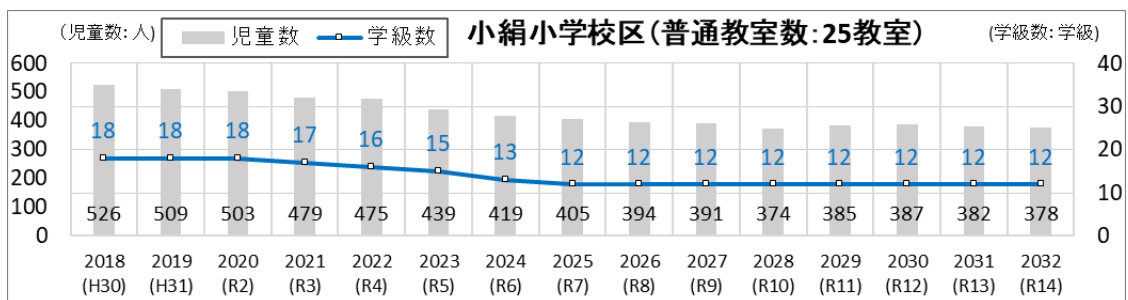
1-9 富士見ヶ丘小学校に谷原小学校、十和小学校、福岡小学校を統合させた場合



(課題) 富士見ヶ丘小学校に十和小学校と谷原小学校, 福岡小が校を統合すると、2020年(令和2年)から最大11教室の教室不足が生じる。

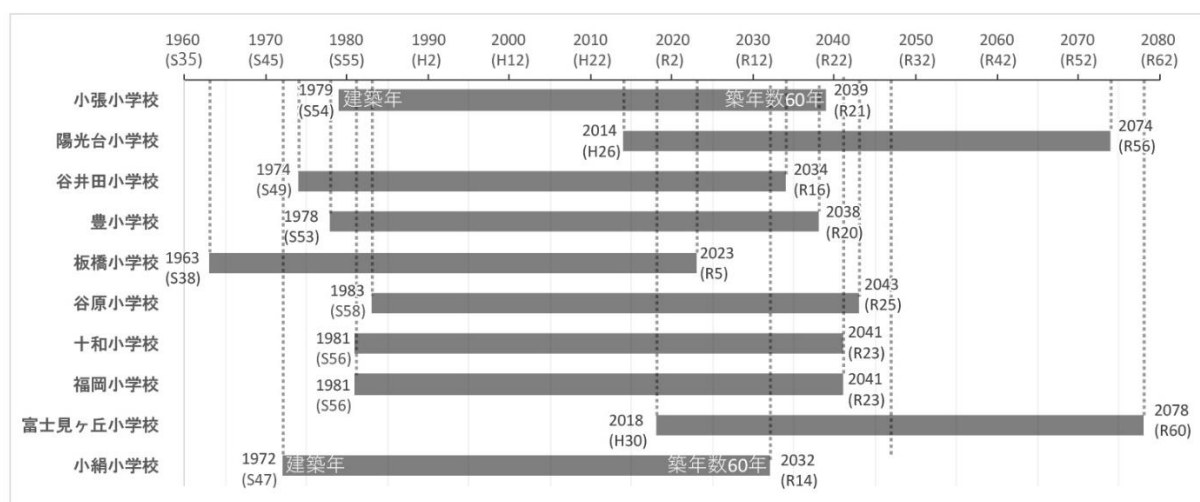
4) 小絹中学校区における小学校の適正配置

4-1 小絹小学校



(参考) 施設の状況

施設の築年数 (築 60 年経過する施設)



参考資料 1 : 法定耐用年数は鉄筋コンクリート造の学校施設の場合、60年又は47年程度  
 ※減価償却資産の耐用年数等に関する省令 (昭和 40 年大蔵省令第 15 号) において建物の  
 構造・用途別に定められており、鉄筋コンクリート造の学校は従来 60 年であったが、  
 平成 10 年度の改正により 47 年となっている。  
 一方で、適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には  
 70~80 年、100 年以上持たせるような長寿命化も可能である

資料 : 「公立学校施設の老朽化対策の検討に係るアンケート調査 (平成 24 年 5 月実施)」 文部科学省

施設名	棟名称	構造	階数	建築年月	面積 (㎡)	耐震化状況
小張小学校	校舎	RC	3	S55.3	2,682	H23 改修済
	体育館	S	2	S53.2	764	H16 改修済
谷井田小学校	特別教室棟(1階)	RC	2	S50.2	554	H26 改修済
	体育館(2階)	S	2	S50.2	435	H14 改修済
	管理教室棟	RC	3	S51.3	1,721	H26 改修済
	教室棟	RC	3	S55.3	1,425	耐震基準適合
	教室棟	RC	4	S57.3	622	耐震基準適合
	体育館	S	2	S58.2	972	耐震基準適合
豊小学校	校舎	RC	3	S53.12	2,396	H24 改修済
	体育館	S	2	S52.3	754	H20 改修済
三島小学校	校舎	RC	3	S54.3	2,389	H27 改修済
	体育館	S	2	S55.2	754	H18 改修済
板橋小学校	教室棟	RC	2	S39.3	501	耐震基準適合
	教室棟	RC	2	S39.7	479	耐震基準適合
	教室棟(廊下)	S	2	S61.9	308	耐震基準適合
	教室棟	RC	3	S49.1	929	H22 改修済
	教室棟(廊下)	S	3	S61.9	251	耐震基準適合
	管理教室棟	RC	3	S54.3	1,274	H22 改修済
	教室棟	RC	3	S57.3	1,079	耐震基準適合
	体育館	S	2	S54.2	976	H12 改修済
東小学校	校舎	RC	3	S56.3	1,758	H26 改修済
	体育館	S	2	S57.3	715	耐震基準適合
谷原小学校	管理特別教室棟	RC	3	S59.3	2,060	耐震基準適合
	教室棟	RC	3	H3.2	297	耐震基準適合
	教室棟(廊下)	RC	3	H3.2	1	耐震基準適合
	教室棟(EV)	RC	3	H13.11	30	耐震基準適合
	体育館	S	2	S53.3	773	H18 改修済
十和小学校	校舎	RC	3	S57.3	1,842	耐震基準適合
	体育館	S	2	S54.3	773	H19 改修済
福岡小学校	校舎	RC	3	S57.3	1,842	耐震基準適合
	体育館	S	2	S53.3	773	H14 改修済
小絹小学校	管理教室	RC	2	S48.2	1,234	H10 改修済
	管理教室棟	RC	3	S61.3	1,884	耐震基準適合
	教室棟(廊下)	RC	3	H5.3	11	耐震基準適合
	教室棟	RC	3	H5.3	1,373	耐震基準適合
	体育館	S	2	S53.3	784	H14 改修済
陽光台小学校	校舎	R・W	2	H27.2	9,173	耐震基準適合
	体育館	R	2	H27.3	1,437	耐震基準適合

資料:学校教育課 平成 28 年 5 月 31 日現在